

公聴会 令和6年3月4日 五木村役場

今 環境影響の話だけがまかり通っていますが それよりも先に 地元住民の心と言うか 感情への影響をきちんと論じるべきではないでしょうか

ダムを造るか造らないかを決めるのは 原発と同様に他所の人ではなく 地元の私達だけで 決めることだと思います

方針を変える度ごとに 振り回される地元の住民のことを いったいどう思っているのか と言いたいです

一番最初にやるべきことは 地元の同意を得る と言うことのはずですが その手順を間違えて 川辺川の清流や環境が守られさえすれば 流水ダムを造ることは当たり前と言わんばかりのやり方は とても腹立たしいことです

先ずは 地元の同意を得ることを考えるべきで 清流や環境影響の話はそのあとにするべきだと思います

1 度白紙撤回と決めたことを覆すからには それなりの相当なハイレベルでの流水ダムの必要性和 その流水ダムを造ることの 誰もが納得できる理由も 当然のことながら必要だと思います

そして その説明は丁寧に してもらわなければなりません 県や国交省はいつも 丁寧な説明をします と言うには言いますが 丁寧な説明とは 5,000 ページの資料を出したり 1 秒間に何千立方メートルの水が どうのこうの と言う難しい話ではなく 説明を受ける我々が 納得して理解出来てこそ 丁寧な説明をしたと言えますので そう言う説明をして下さい

1月27日の熊日新聞に「確認しました」と県の復興局が1面広告を出しま

したが あれなどは まるで我々地元が流水ダムを造ることに同意したかの
ようで 地元を馬鹿にしているとしか思えず 実に看過しがたいことです
その上で 次のことを今一度考えてもらいたいのです

令和2年も4年も 大雨が降り令和2年は異次元の大災害でしたが 令和
4年は災害はなく 犠牲者も0でした

しかし川辺川の水位は令和4年の方がはるかに高く そのことは 五木村の
頭地橋で 令和2年は最高水位が橋の下方でしたが 令和4年は橋をはるかに
越え流木が多数橋の上に残っていたことから明らかです

また 市房ダム周辺も 令和4年の方が2年以上の降水量があったそうで
すし このことは国交省も当然 ちゃんと知っていると言いました

普通に考えますと令和4年にも 2年前のような被害があったかも知れま
せんが 災害が起きなかった理由は 市房ダムが事前放流をしたからだ と
考えます

国交省は 線状降水帯と台風では雨の降り方は違う と言いますが 雨
の降り方がどうであれ 降った雨で川の水位がどこまで上がるかで 水害が
起きるか起きないかは決まることだと思います

令和2年の水害の原因が川辺川であれば 令和4年にも令和2年以上の水
害が起きたかもしれませんが 水害が起きなかったことで 令和2年の水害
の原因は川辺川ではないことが 証明されたと思います

令和2年と令和4年の大きな違いは ニュース報道でもありました通り
令和4年9月は 大雨が降る前に市房ダムを 大量に事前放流したことだと
考えられますし そのことは

令和4年大雨後のNHKのニュース報道(クマロク)では市房ダム職員が「私の人生で最高のダム操作が出来て 令和2年のような災害を防ぎました」と誇らしげに話す場面が放送をされ 別の日の熊日新聞では 県の職員が 人吉市役所において 雨が降る前に事前放流をしたことや 時間差の緊急放流が 災害を防いだこと 市房ダムの存在そのものが(暗に市房ダムがあったから令和4年は) 災害を防いだと人吉市長に丁寧に説明したこと そして知事も 「もう少し多くの量を 事前放流出来ないか検証する」と話した新聞記事が 掲載されましたが 検証結果はまだ発表されていません

昨年4月ころ 菅 前総理大臣が 蒲島知事や国会議員 流域市町村長立ち会いで 市房ダムを現地視察されました

そして「大雨の時はダムの事前放流をすることが 水害を防ぐためにいかに重要か 今後は日本中のダムでも実行する必要がある」と話をされたことが テレビのニュース報道でもありました

このことからわかる通り 大雨の時は市房ダムを事前放流すれば水害は防ぐことが出来るのではないかと思います

国交省は 令和2年の災害の原因は令和3年に調査済みとし 仮に令和2年に事前放流していたとしても 球磨川の水はたった1%程度しか減らせないと 言いましたが それでは災害にならなかった令和4年の説明がつきませんので 県や国交省はその責任の下 令和2年の災害の原因の再検証しきちんと公表して頂きますよう この機会にお願いします

令和4年9月のように 市房ダムを事前放流さえすれば 令和2年7月のような水害は 著しく起こりにくくなるし 極端な言い方をすれば 6月～9月までに限り 市房ダムを流水ダムのように運用して 貯水量を0にすれば良い と言う方法もあります

命を守る大切さの意味では これこそが 平成 20 年に知事が言われた「ダムによらない究極の治水対策」ではないでしょうか

うちも相良村もまだ流水ダムの賛否を決めてはいないのに ダムを造る話だけが先走っていることが 許せないことです

流水ダムに反対する意見を 一方的に無視するやり方では 県や国交省の皆さんは 心が痛みはしませんか

まずは 令和 2 年の災害の原因調査を 地元住民の意見も聞きながらもう 1 度丁寧に行ってもらいたいと思います

そして 令和 4 年に証明された 市房ダムの事前放流で災害を防ぐことを とことん追求した後に 流水ダムの必要性を有無を地元と共に論議されるように 心からお願いをします

私が生まれる前から 川辺川には九電やチッソのダムが何か所か在りますが それを見れば一目瞭然 自然の川にコンクリートの構造物を造ると 必ず水は濁り土砂は堆積し がけ崩れが起き自然が破壊されます

自然や人間環境を壊す巨大なダムは 造ってはなりません

以上

令和 6 年 3 月 4 日